

# 「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」 の採択について



岡山大学長 那須保友

## 令和6年度大学教育再生戦略推進費 「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」

プログラム名：

【和文】統合エンゲージメント戦略による「地域と地球の未来を共創する Well-being実践人」の育成

【英文】 Developing 'Well-being Achievers in Co-creating the Future of the Local Community and the Planetary Society' through Integrated Engagement Strategy

事業者（大学の設置者）：那須 保友 学長

事業責任者：菅 誠治 理事（教学担当）・上席副学長

補助金申請額：令和6年度～8年度	100,000 千円
令和9年度	70,000 千円
令和10年度	50,000 千円
令和11年度	30,000 千円



# 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業

令和6年度予算額

18億円  
(新規)

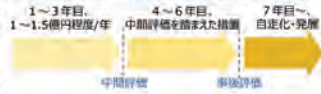


## 背景・概要

- 大学の教育・研究活動を支えるのは、優れた人材。国際的な人材獲得競争が激化する中で、大学は研究機関としてだけでなく、教育機関として多様性を活かしたイノベティブな人材育成を行うとともに、我が国の質の高い大学教育を海外でも展開してその認知度を高め、優秀な人材を育成・獲得していくための体制を強化していくことが急務
- 留学生30万人計画の達成の過程を通じ、英語による授業科目や英語のみで学位を取得できるコースも増加し、一定の国際化が図られている一方、外国人留学生と日本人学生が深く関わり相互研鑽に励むための環境が十分に整っていない、出口に着目した受け入れが不十分等の課題も顕在化

事業実施期間 令和6年度～令和11年度（予定）

事業実施のイメージ（予算措置は6年）



教育未来創造会議第二次提言に掲げられた目標の実現に向け、国内外での国際的な共修のための体制の構築等を通じ、更なる大学の国際化の推進、日本人留学生の派遣、優秀な外国人留学生の受け入れ・定着それぞれが相互に作用する好循環を創出

### ■ 教育未来創造会議第二次提言「未来を創造する若者の留学促進イニシアチブ<J-MIRAI>」（令和5年4月27日）

- 今後の方向性
  - 多様な文化的背景に基づき価値観を持った者が集い、理解し合う場が創出される教育研究環境、高度外国人材が安心して来日できる子供の教育環境の実現を通じて教育の国際化を進める
- 具体的方策
  - 教育の国際化の推進・徹底した国際化やグローバル人材育成に大学が継続的に取り組むような環境整備
- 2033年までの目標
  - 日本人学生の派遣
    - 学位取得等を目的とする長期留学者の数 6.2万人→15万人
    - 協定などに基づく中短期的留学者数 11.3万人→23万人
  - 外国人留学生の受け入れ・定着
    - 外国人留学生の数 31.2万人→38万人
    - 留学生の卒業後の国内就職率 48%→60%（国内進学者数）

## 事業内容

### I. 地域寄連構築型

- 国際共修の全学的な実施体制の構築、②出口に着目した留学生受け入れの質の向上、③地域社会と連携した活動等を実施 ※なお、予算措置対象は主に①のみを想定
  - 件数・単価：10件程度×約100～150百万円
  - 交付先：国公立大学（連携機関として短期大学・高等専門学校含む）
- 地域社会との連携による国際的な共修科目を体系的に組み入れ、外国人留学生が我が国への理解・共感を深めるとともに、日本人学生が日常的に国際経験を積めるようなカリキュラムの国際化を図る
- 自治体や企業等との有機的な連携による定着支援や地域での国際交流活動を通じ、カリキュラム外も含めたキャンパスライフ全般において外国人留学生が日本社会に溶け込み、共生していく環境を構築する

外国人留学生の受け入れ増大、大学を核とした共生社会の実現

### II. 海外展開型

- 既存の海外大学内外拠点の活用等により、学生を送り出せる環境の整備や、現地での共修環境の構築を実施
- 件数・単価：3件程度×約150百万円
  - 交付先：国公立大学
  - 海外で教育活動を展開し、現地大学の学生との共修等を通じたグローバルな学びや国際的ネットワークへの参画を実現を図る
  - カリキュラムの一環として、学部レベルから大学院に至る各段階に成じたグローバル人材・価値創造人材育成に資するプログラムを構築し、日本人学生の送り出しを行う

日本人学生の留学促進、海外での日本の大学のプレゼンス向上へ

## 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業

**統合エンゲージメント戦略による  
「地域と地球の未来を共創するWell-being実践人」の育成**  
Developing 'Well-being Achievers in Co-creating the Future of the Local Community and the Planetary Society' through Integrated Engagement Strategy

※LX：多文化共修の学習体験（Learning Experiences）

※ESD：持続可能な開発のための教育

LX0：ESD（SDGs）の基礎

共修のための基礎作り

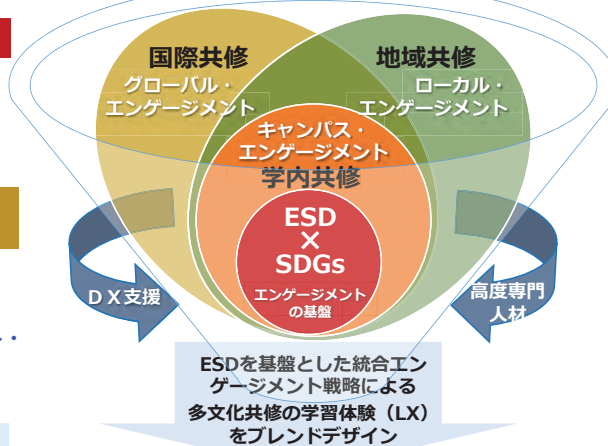
教育推進機構

LX2：国際共修によるSDGsへの取組

国際共修環境の創出

グローバル・エンゲージメント・センター

オンライン授業コンテンツ  
多文化共修科目等の充実・開発



ESDを基盤とした統合エンゲージメント戦略による多文化共修の学習体験（LX）をブランドデザイン

LX1：多文化共修環境の整備

学内共修環境の創出

キャンパス・エンゲージメント・オフィス

LX3：地域共修による課題発見と解決  
学生の地域定着

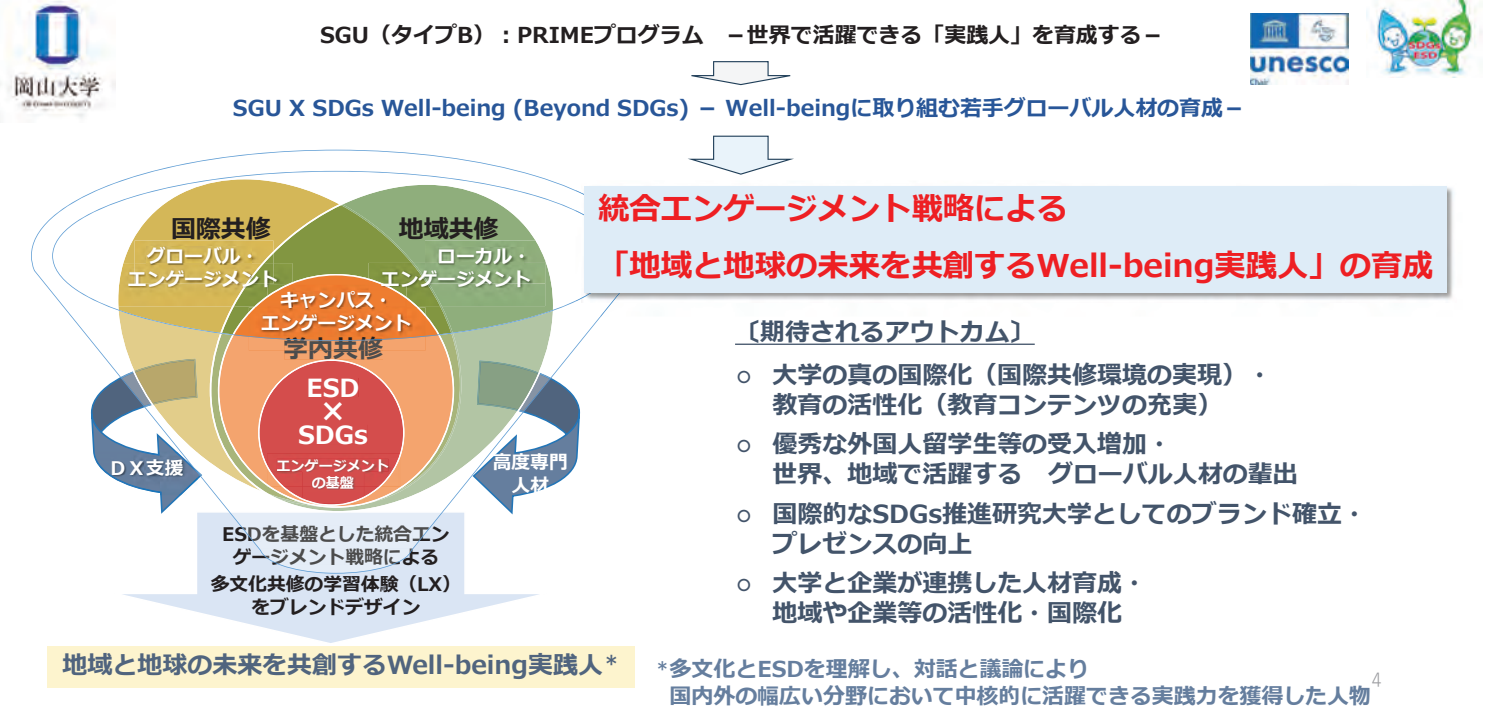
地域共修環境の創出

地域共創本部  
L-café  
キャリア・学生支援室

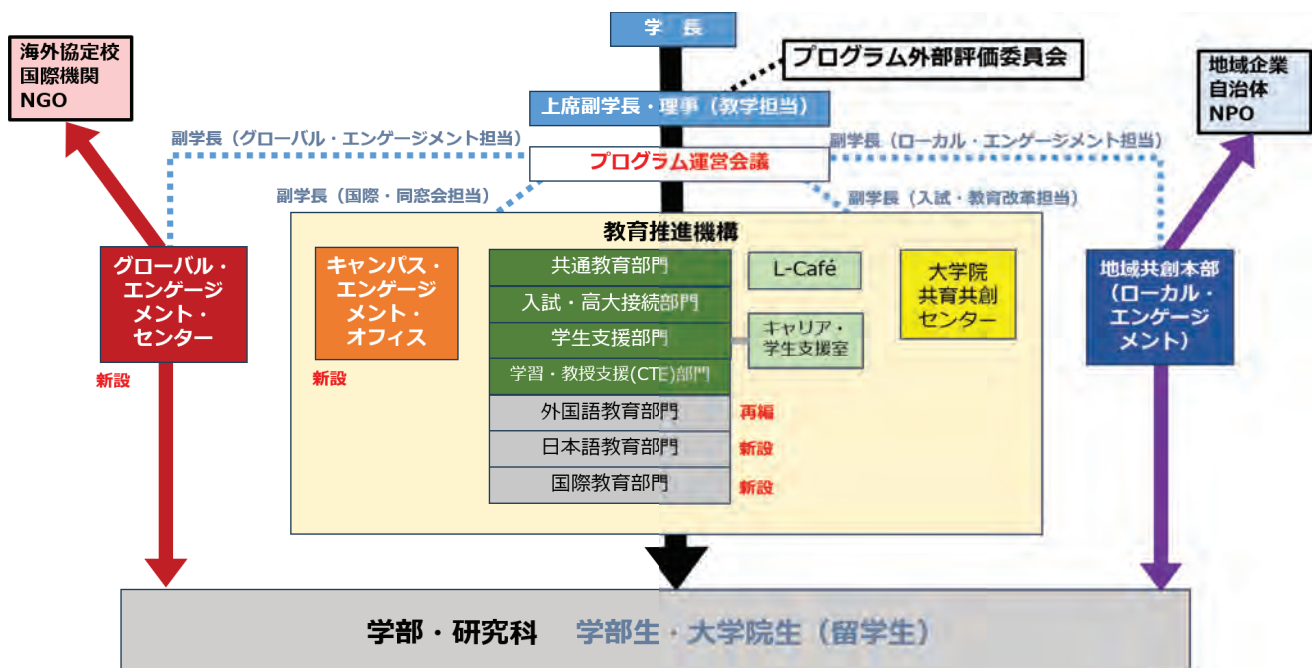
海外戦略と地域戦略の融合で  
大学の国際化を加速



# スーパースーパーグローバル大学創成支援事業と本プログラムの位置付け 本プログラムの目的とアウトカム

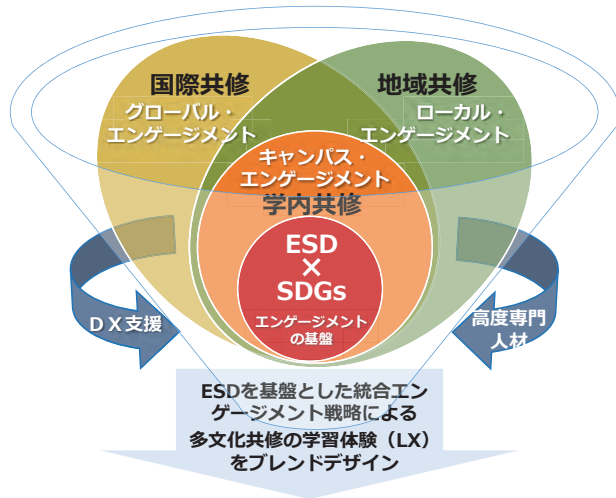


## プログラムの実現に向けた体制の構築



# プログラム計画の具体的な内容

統合エンゲージメント戦略による「地域と地球の未来を共創するWell-being実践人」の育成



地域と地球の未来を共創するWell-being実践人\*

- オンライン授業コンテンツ等の開発
- 多文化共修科目等の充実・開発

## グローバル・ディスカバリー・プログラム



## 交換留学プログラム (EPOK)

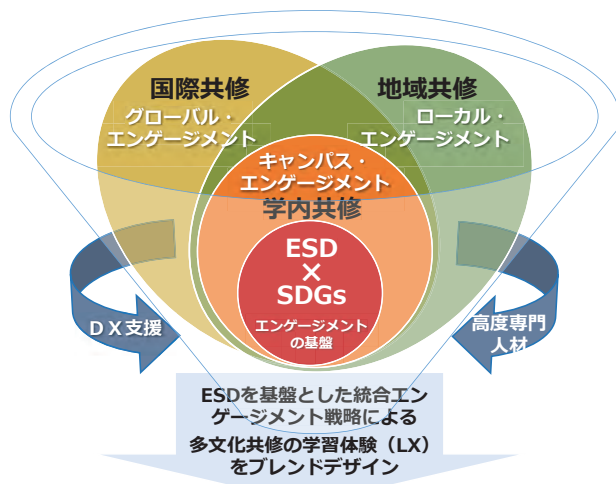


### 正課の科目

- ◆ 英語コミュニケーション「世界を持続可能にするために、今取り組むべきこと」
- ◆ リーダーシップとSDGs

# プログラム計画の具体的な内容

統合エンゲージメント戦略による「地域と地球の未来を共創するWell-being実践人」の育成



地域と地球の未来を共創するWell-being実践人\*

- オンライン授業コンテンツ等の開発
- 多文化共修科目等の充実・開発

LX0 : ESD (SDGs) の基盤



共修のための基盤作り

### 教育推進機構

- ・ 全学部生及び大学院生を対象に、ESD (SDGs関連) と多文化理解のための科目設定

LX 1 : 多文化共修環境の整備



学内共修環境の創出

### キャンパス・エンゲージメント・オフィス

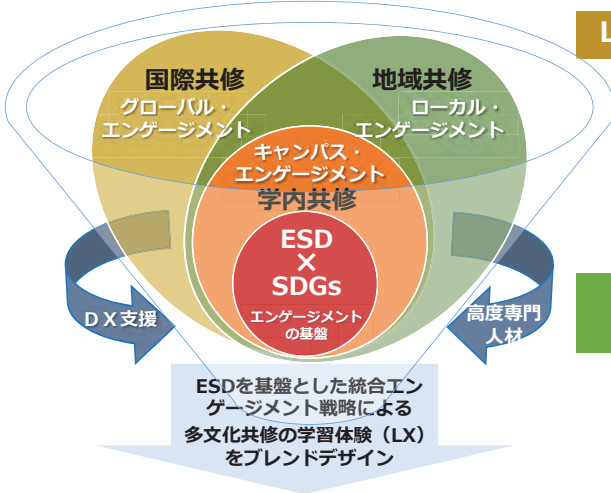
- ・ 大学全体および部局単位または部局を跨る形でSDGsを共通言語とした多文化共修科目を設定
- ・ 文化の多様性 (留学生との共修) を日常にする環境の創成・整備

### 正課の科目

- ◆ 英語コミュニケーション「世界を持続可能にするために、今取り組むべきこと」
- ◆ Inquiries of Knowledge I, II, III
- ◆ リーダーシップとSDGs
- ◆ 芸術と近現代社会の関わり ~ 岡山・瀬戸内 (備讃) の事例での対話と探求
- ◆ SDGs からみる日本事情

# プログラム計画の具体的な内容

統合エンゲージメント戦略による「地域と地球の未来を共創するWell-being実践人」の育成



LX 2：国際共修によるSDGsへの取組 → 国際共修環境の創出

## グローバル・エンゲージメント・センター

- 海外協定校・国際機関との質保証された共修教育プログラムの開発
- 双方の機能強化に繋がるパートナーシップを締結

LX 3：地域共修による課題発見と解決 → 地域共修環境の創出

## 地域共創本部

L-café キャリア・学生支援室

- 多文化共修による実践力の獲得・地域へ貢献する人材の養成
- 大学が地域と創る共修の場  
(日本人学生+外国人留学生+企業・自治体等)
- 岡山の自然環境と地域社会が育む実践教育：  
共修による地域社会の活性化

地域と地球の未来を共創するWell-being実践人\*

- 海外大学等との連携
- 外国人留学生就職促進

# 今後の国際戦略

統合エンゲージメント戦略による「地域と地球の未来を共創するWell-being実践人」の育成

